

科目名	がん看護学実習Ⅱ			分野・必選別・単位数	専門科目 (がん看護学)	選択	2単位
担当教員	◎教授 南川雅子						
課程	博士前期	配当年次	2年	配当学期	通年	授業方法	実験・実習
授業の概要	がん看護専門看護師としての役割や機能を発揮するために必要な知識、技術、態度について体験的に学習し、専門看護師としての高度な看護実践能力を習得する。						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 訪問看護への同行と実践を通して、在宅療養中のがん患者とその家族がかかえている課題を説明できる。 2. 在宅におけるがん看護の実践をとおして、在宅療養中の患者とその家族に対してがん看護専門看護師として果たすべき役割について探求する。 3. 病院の退院調整部門と訪問看護ステーションでの実習を通して、病院と地域間のシームレスな連携のあり方について探求する。 						
授業計画	回数	担当者	行動目標				
	<p>【1週目～2週目】訪問看護ステーション実習(退院調整部門実習を含む) 訪問看護への同行と実践を行い、対象の抱えている課題を説明できる。 在宅での看護実践をとおして、がん看護専門看護師の果たすべき役割を探求する。 病院と地域間のシームレスな連携のあり方を探求する。</p>						
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	実習目標達成に向けて、主体的に事前学習や記録に取り組む。					
	【事後学修】	実習中の疑問点をまとめ、文献等を利用し、翌日までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要。					
教科書	随時紹介する。						
参考書	随時紹介する。						
成績評価の方法および基準	課題の達成度80%、レポート20%により評価する。						
その他履修上の注意事項	<p>1日の実習時間は1限から4限までとする。 試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP3が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。</p>						